

**未来社会創造事業 探索加速型探索研究**  
**事後評価結果**

1. 領域

「超スマート社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

異分野共創型の AI・シミュレーション技術を駆使した健全な社会の構築

3. 研究開発課題名

代替データと理論モデルの融合による新たな経済観測

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

和泉 潔(東京大学大学院工学系研究科 教授)

5. 評価結果

評点: A (優れている)

総評:

本研究開発課題は、いかなる社会的情勢にあっても経済状況を指標化および可視化し、政策判断の材料を提供するための大規模データ解析および経済理論的分析、社会シミュレーションの統合技術の確立を目指すものである。確立した技術をもとに、NPO を設立してインセンティブを与えてデータ収集を行うことは、本事業の趣旨に合致している。

探索研究において、因果関係を明示的に扱う大規模データ処理技術を提案し、従来の経済観測の枠組みでは実現できなかった、複数ソースや複数時間スケールのデータから重要な経済指標の推定や、アナリストレポートテキストを用いた経済分析情報提供の基盤構築、経済指標や項目間の因果関係の自動抽出を達成したことは評価できる。

また、研究代表者および研究参加者らが省庁の委員会や会議などのメンバーとして参加している中で、研究代表者が本活動成果を実現する場の一つである国の「ビッグデータ・ポータル」の開設に貢献したことは、優れた成果と認められる。

今後は、社会実装に向けて本格的な検証とプラットフォーム構築が発展することを期待する。

以上